

## 訂正情報

『ふたたびの微分・積分』の内容に関して、以下のような誤記がございました。  
正しくは以下のようになります。

2016年12月26日

◆42 ページ 3行目

【誤】本節では関数  $y=f(x)$  をある値に

【正】本節では関数  $y=f(x)$  の  $x$  をある値に

◆54 ページ 1行目から

【誤】直線 AB は赤い直線 (④の図の細い点線) に近づいていきそうです。その赤い直線は何でしょう? そうですね。その赤い直線は点 A における接線です。

【正】直線 AB は右ページ図④の赤い破線に近づいていきそうです。その赤い破線は何でしょう? そうですね。その赤い破線は点 A における接線です。

◆68 ページ「まとめ」の囲みに続く本文の2～3行目

「異なる10個から4個を選ぶ」と「異なる7個から2個を選ぶ」が入れ替わっていました。

【正】

(異なる7個から2個を選ぶ)  ${}^7C_2 =$  (以下略)

(異なる10個から4個を選ぶ)  ${}^{10}C_4 =$  (以下略)

※以上は第2刷で修正いたしました。

※以下は第3刷より修正させていただきます。

◆188 ページ 下から2行目

【誤】  $= (e^{x \log \alpha})^x \log \alpha$

【正】  $= (e^{\log \alpha})^x \log \alpha$

◆225 ページの中ほどの筆算

【誤】

$F(x+h) - F(x) \doteq f(x)h$  より

$$\begin{array}{rcll}
 x = a & \text{のとき} & \overline{F(a+h)} - \overline{F(a)} & \doteq f(a)h \\
 x = a+h & \text{のとき} & \overline{F(a+2h)} - \overline{F(a+h)} & \doteq f(a+h)h \\
 x = a+2h & \text{のとき} & \overline{F(a+3h)} - \overline{F(a+2h)} & \doteq f(a+2h)h \\
 \vdots & & \vdots & \\
 x = a+(n-1)h & \text{のとき} & \overline{F(a+nh)} - \overline{F(a+(n-1)h)} & \doteq f(a+(n-1)h)
 \end{array}$$


---


$$\begin{array}{rcll}
 \overline{F(a+nh)} - \overline{F(a)} & \doteq & f(a)h + f(a+h)h + f(a+2h)h + \dots + f(a+(n-1)h)h & \dots \textcircled{3} \\
 \uparrow & \uparrow & & \\
 \text{最後の項} & \text{最初の項} & & 
 \end{array}$$

【正】

$F(x+h) - F(x) \doteq f(x)h$  より

$$\begin{array}{rcll}
 x = a & \text{のとき} & \overline{F(a+h)} - \overline{F(a)} & \doteq f(a)h \\
 x = a+h & \text{のとき} & \overline{F(a+2h)} - \overline{F(a+h)} & \doteq f(a+h)h \\
 x = a+2h & \text{のとき} & \overline{F(a+3h)} - \overline{F(a+2h)} & \doteq f(a+2h)h \\
 \vdots & & \vdots & \\
 x = a+(n-1)h & \text{のとき} & \overline{F(a+nh)} - \overline{F(a+(n-1)h)} & \doteq f(a+(n-1)h)h
 \end{array}$$


---


$$\begin{array}{rcll}
 \overline{F(a+nh)} - \overline{F(a)} & \doteq & f(a)h + f(a+h)h + f(a+2h)h + \dots + f(a+(n-1)h)h & \dots \textcircled{3} \\
 \uparrow & \uparrow & & \\
 \text{最後の項} & \text{最初の項} & & 
 \end{array}$$

◆227 ページ

【誤】

$$f(a)h + f(a+h)h + f(a+2h)h + \dots + f(a+(n-1)h)h$$

に等しくなっています！

長方形の面積の和は問題で与えられた面積  $S$  とほぼ等しいので、

$$S \doteq f(a)h + f(a+h)h + f(a+2h)h + \dots + f(a+(n-1)h)h \quad \dots \textcircled{4}$$

【正】

$$f(a)h + f(a+h)h + f(a+2h)h + \dots + f(a+(n-1)h)h$$

に等しくなっています！

長方形の面積の和は問題で与えられた面積  $S$  とほぼ等しいので、

$$S \doteq f(a)h + f(a+h)h + f(a+2h)h + \dots + f(a+(n-1)h)h \quad \dots \textcircled{4}$$

◆302 ページ 下から3行目

【誤】 加速度を積分すれば速度に、速度を積分すれば加速度になることも分かります。

【正】 加速度を積分すれば速度に、速度を積分すれば位置になることも分かります。

お客さまにご迷惑をおかけしましたことを謹んでお詫び申し上げます。